



2023

としよだより



令和5年1月 富屋小学校

ふゆやす お ねん 冬休みも終わり、2023年がスタートしました。

ことしは うどし で、えと 干支は「うさぎ」ですね。うさぎのように、みなさんがぴよんぴよんとびはねるように、楽しいことや新しいことにチャレンジできますように。今年も学び多く、楽しい日々が送れるよう、本を通じてお手伝い出来たらと思います。

としよしつ では、12日から蔵書点検を行っています。ししよ としよしつ せんせい 司書（図書室の先生）は、みなさんに本を貸出するために、たくさんの仕事や準備が必要です。今回のおたよりでは、蔵書点検について紹介しています。世の中にはたくさんの仕事がありますが、ししよ という仕事を少しでも知ってもらえたらと思います。

とみやしょう としよかん ことし ねが 富屋小の図書館を、今年もよろしくお願ひします。



あたらしい本 はじめました



ふゆやす まえ あたら ほん なかまい 冬休み前に、新しい本が仲間入りしました！

みなさんにおすすめの本を2冊紹介します♪

ほか 他にもたくさんおすすめ本があるので、図書館に来てください♪

しちふくじん べんざいてん 七福神の弁財天
べんぎょう かみさま 勉強の神様です。

『すごいゴミのはなし』

ゴミ清掃員、10年間やってみた。』

たきざわ しゅういち ちよ 滝沢 秀一/著 Gakken

マシンガンズというコンビのお笑い芸人でもある、滝沢さんという方の本です。清掃員として働いたある日、「電子レンジいっぱいにつつまった」ゴミに出会います。そのほか、「たくさんの人形」や「きのこ料理」など。だが、なぜずてたのか…ごみの世界はおくが深い。



ゴミについて楽しく分かりやすくしょうかいされていて、SDGsを考えるときっかけになる本です。

ここで問題です。生ゴミは、水がたまるため、においが出やすく、清掃車がかさかなくなってしまうそうです。ある日、大量の何かがすてられていて、車の中はいいにおい。そのゴミは、な～んだ？

『ラベンダーとソプラノ』

ぬかが みお ちよ いわさきしよてん 額賀 湲/著 岩崎書店

しゅじんこう ま こ ねんせい がっしょう 主人公の真子は、6年生で、合唱クラブに入っている。「全国大会で金賞」を目標だけけれど、練習がきびしく、部活のふんいきも悪くなっていた。そんな時、ボーイソプラノですてきな歌を歌う、5年生の朔に出会う。朔は、大人にまざって、商店街の合唱団に入っていた。朔と合唱団に出会い、真子もがんばる意味やクラブのことを考えるようになり…



この本は、私の大好きな作家さんが、はじめて書いた児童書です。お話を読んでみると、きれいな合唱の歌が聞こえてきそうです。最後のページに、どうしてこの本を書こうと思ったのか、メッセージがありません。ぜひそこまで読んでほしいです。



蔵書点検ってなに？

図書館司書のお仕事しょう介



図書館では、27日(金)まで、「蔵書点検」を行っています。30日(月)から貸出を始めます。

富屋小には、約9000冊の本があり、1冊ずつバーコードを機械で読み取ります。図書館にあるすべての本と、パソコンのデータの本の冊数があうかどうか、確認をします。きちんと登録されているか？なくなっていないか？本がぼろぼろになっていないか？、も調べていきます。蔵書点検が終わったら、本を整え、図書館でみなさんをむかえる準備もします。

1

蔵書点検の相棒、
ハンディターミナル



2

みなさんが11日までに返した本を、分類(本のなかま)で分ける)ごとに分けます。
分類ごとにバーコードを読み込むと、作業がスムーズです。
本棚も整理して、読み込みスタート♪



3

1冊ずつ、読み込んでいきます。本棚にきちんと本が戻っていると、作業がスムーズに進みます。



クリスマスサプライズ♪
ようこそ〇〇先生 読み聞かせ 12/22

